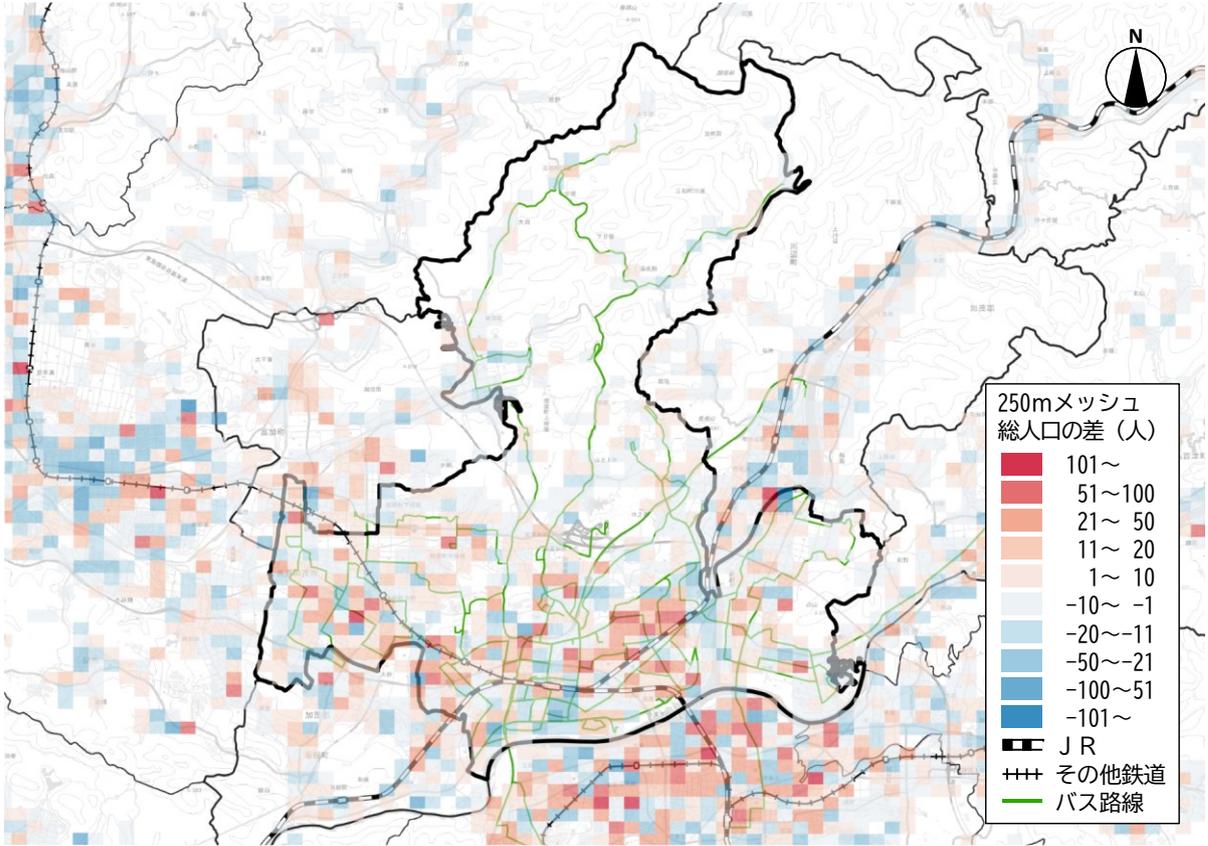


調査結果概要 [抜粋]

公共交通を取り巻く環境

人口 ・人口は市南部で増加傾向、市北部で減少傾向にあり、地域によって需要に差がみられる。

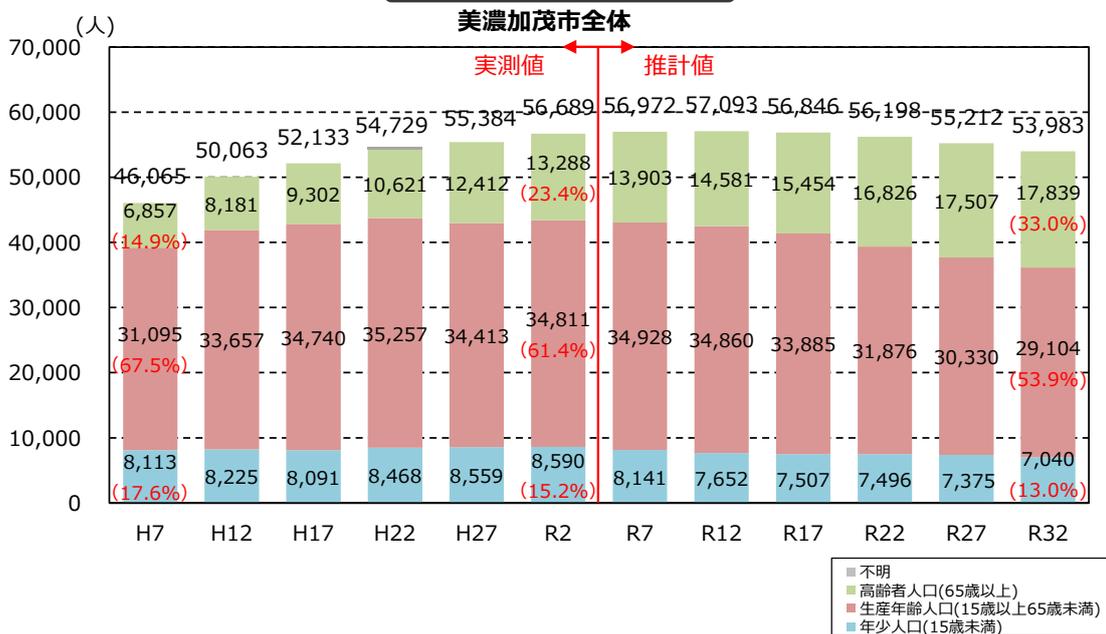
令和2年総人口と平成27年総人口の差分



出典: 国勢調査

- ・市全体の人口では令和12年をピークに減少傾向となる予測。
- ・高齢化率は地区による違いがあるものの、いずれの地区でも進行しており、市全体で高齢者の増加が見込まれている

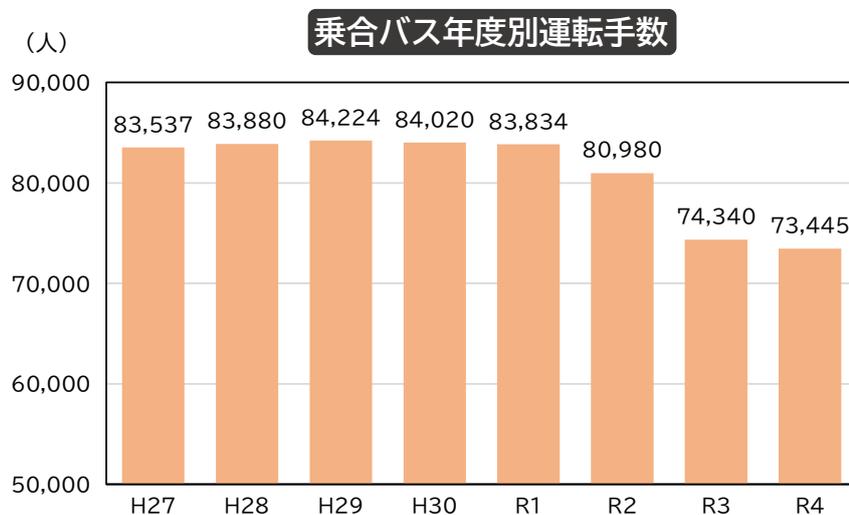
年齢3区分別人口の推移



出典: 国勢調査
※()は総人口に占める割合

交通事業者を取り巻く環境

- ・バス・タクシーの運転手不足が深刻化し、今後の公共交通の維持が困難になりつつあり、同じサービスを提供する場合でも、運行経費は年々増加している。

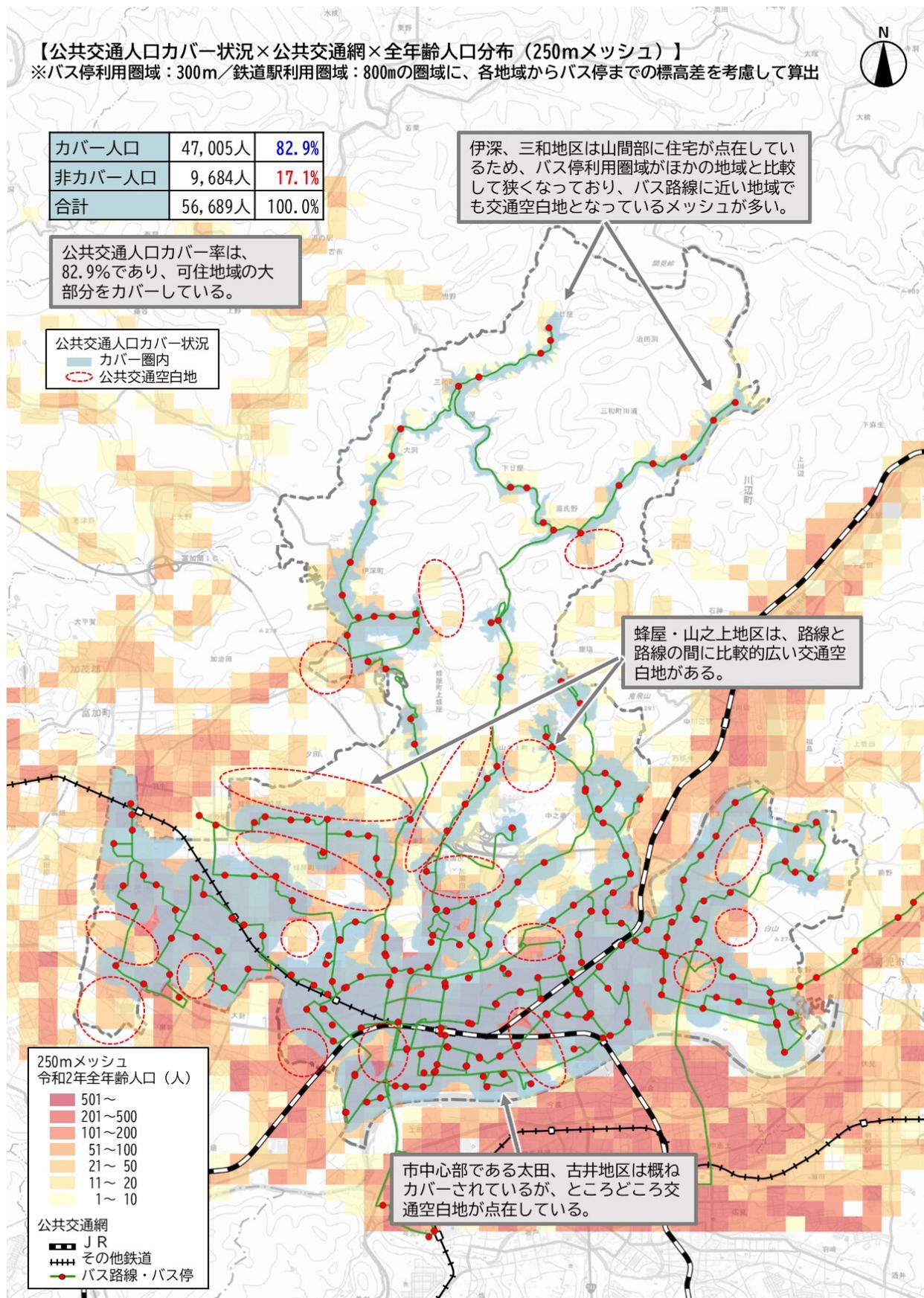


出典:日本のバス事業2023, 2024 (日本バス協会)

公共交通の利用状況・利用者ニーズ

サービス水準

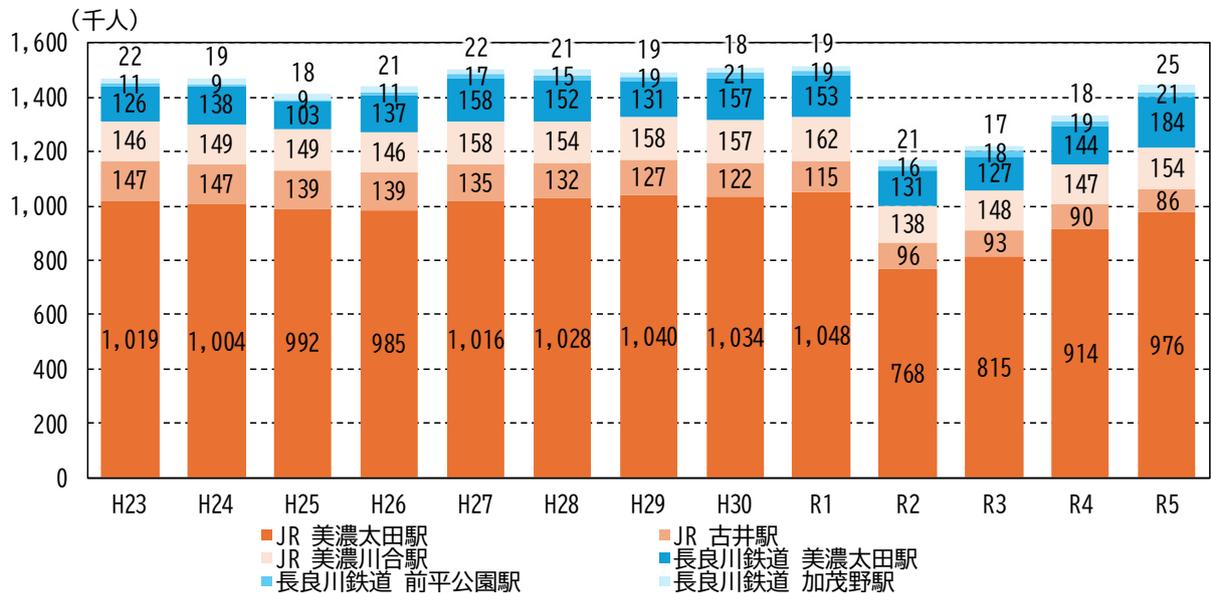
- ・あい愛バスが市域全域を広くカバーしており、公共交通の利用圏域（鉄道駅から半径800m、バス停から半径300m）は、美濃加茂市の人口の83%をカバーしており、主要な施設も概ね内包している。



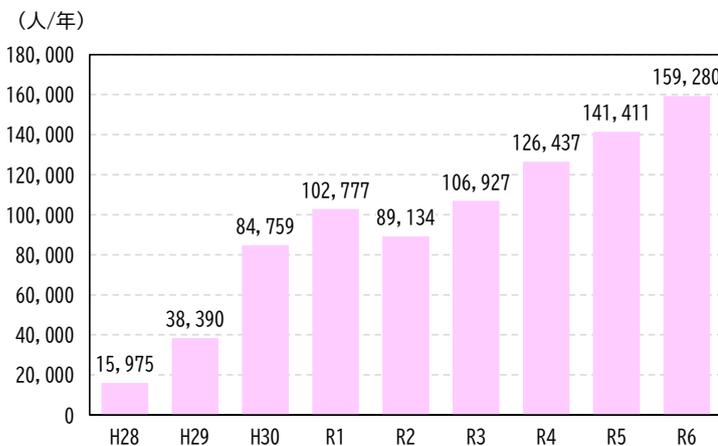
利用実態

- ・公共交通の利用者数は、鉄道が横ばい傾向、バスが増加傾向にある。
- ・あい愛バスは平成29年10月の路線再編以降、利用者が大きく増加している。令和2年にはコロナ禍の影響で利用者数が落ち込んだものの、その後は回復し、令和6年度は日あたり438.5人の利用がある。
- ・路線バス八百津線は減少傾向が続いている。

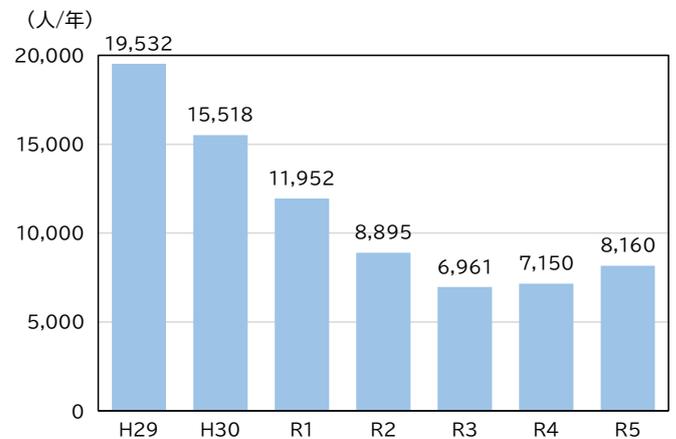
市内駅の年間乗降者数の推移



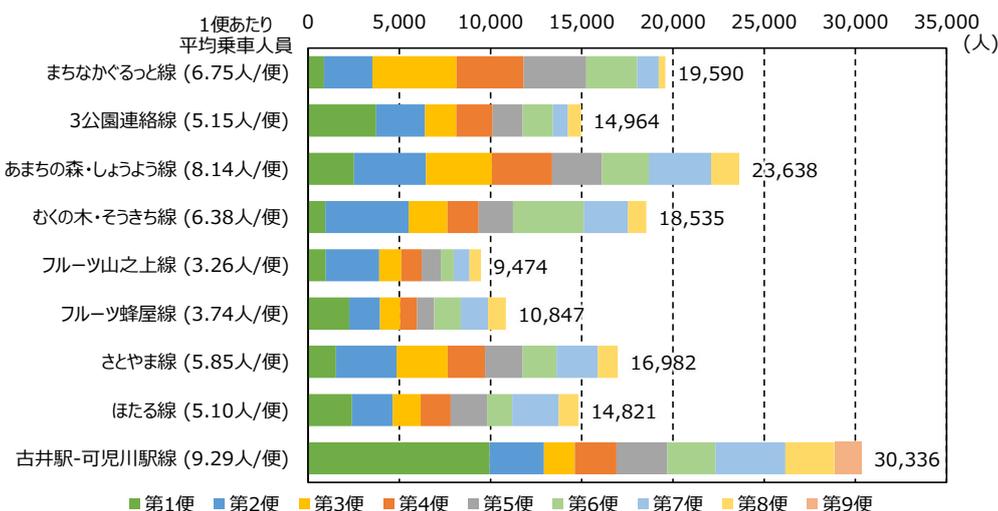
あい愛バス年間利用者数（年度集計：4月～3月）



東鉄バス八百津線 年間利用者数



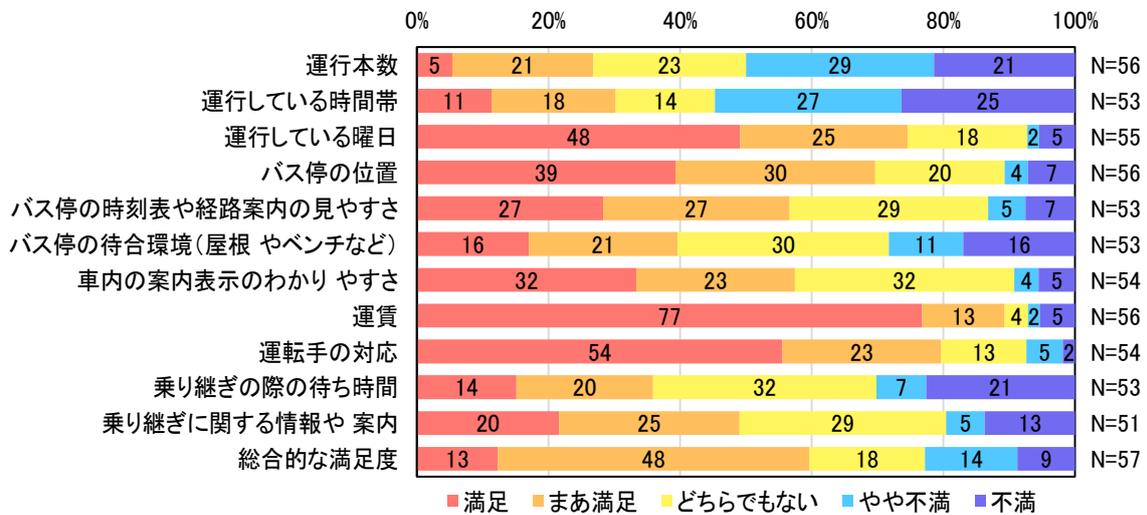
あい愛バス路線別年間利用者数（令和6年4月～令和7年3月）



利用の意見

- バス利用者アンケートにおける総合的な満足度は61%で、「運賃」や「運転手の対応」の満足度が高い。一方「運行時間帯」や「運行本数」の満足度が低い。

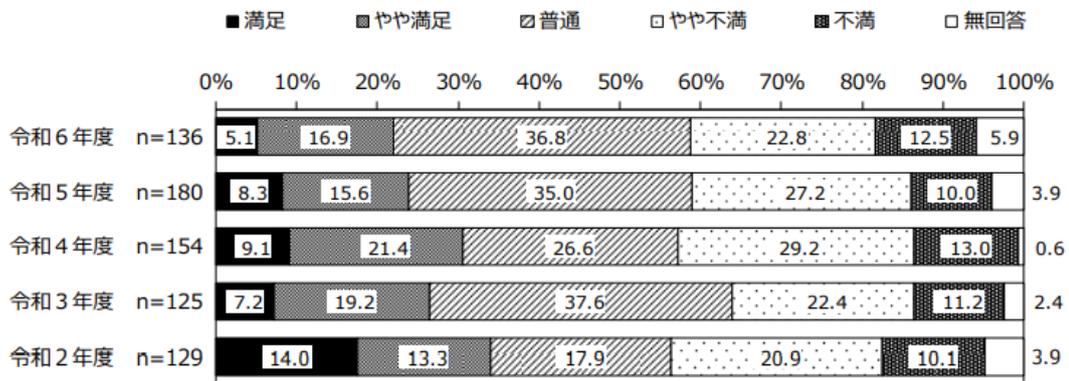
あい愛バスに係る満足度



出典：令和6年度バス利用者アンケート

- 市民満足度調査におけるあい愛バスの利用しやすさの満足度は減少傾向で、令和6年度は22%となっている。

あい愛バス利用しやすさの満足度



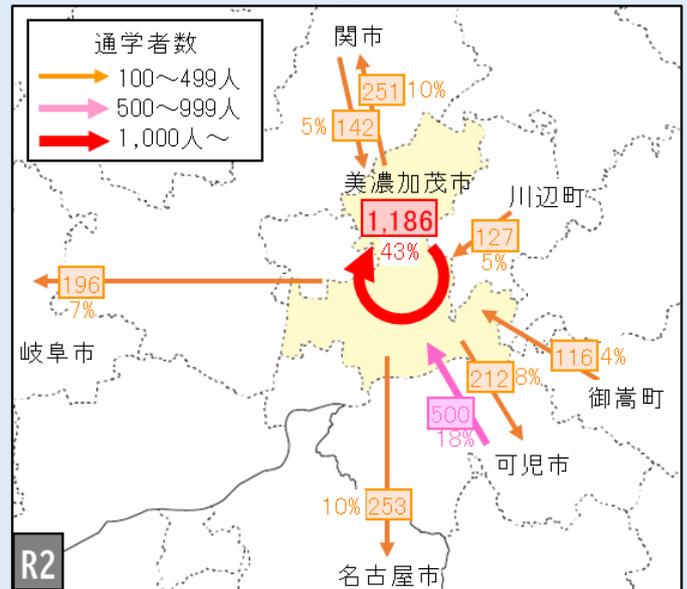
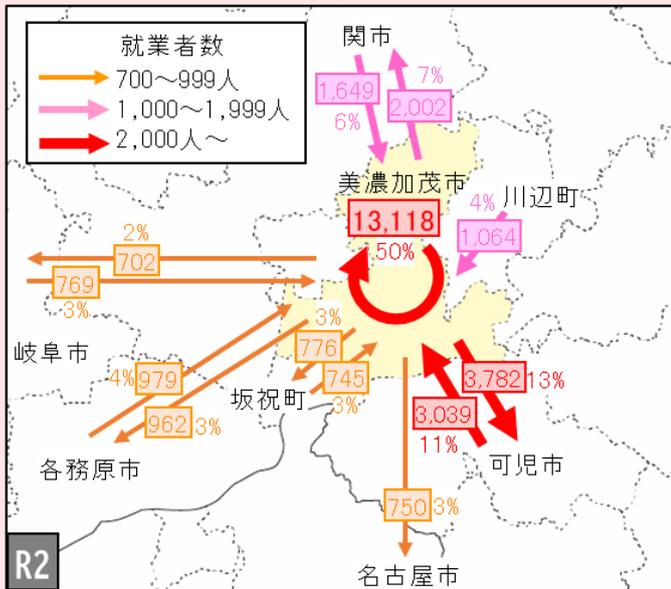
出典：令和6年度市民満足度調査

広域的な利用実態

・美濃加茂市に住む通勤者の50%、通学者の57%は市外へ通勤通学している。また、美濃加茂市はみのかも定住自立圏の中心都市であり、加茂郡内から美濃加茂市への通勤通学も比較的多く、日常生活において広域移動が多い。

就業者

通学者



市内に常住する就業者(美濃加茂市民)	: 28,156人
市内に常住し、市内へ通勤する就業者	: 13,118人
市内に常住し、市外へ通勤する就業者	: 14,856人
市内の事業所への就業者	: 26,504人
市外に常住し、市内へ通勤する就業者	: 13,306人

市内に常住する通学者(美濃加茂市民)	: 2,608人
市内に常住し、市内へ通学する通学者	: 1,186人
市内に常住し、市外へ通学する通学者	: 1,400人
市内の学校等への通学者	: 2,787人
市外に常住し、市内へ通学する通学者	: 1,580人

※15歳以上の就業者数（就業者数700人以上を記載）及び通学者（通学者数100人以上を記載）

※市内に常住する就業者・通学者、及び市内の事業所・学校等への就業者・通学者の中には不明が含まれます。

出典：国勢調査